

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	補聴器・人工内耳Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	三年次		学期及び曜時限	後期 土曜1-4限	教室名	404教室
担 当 教 員	玉川 友哉	実務経験と その関連資格	鳥取大学医学部付属病院に言語聴覚士として勤務。主業務は聴力検査、補聴器測定、人工内耳マッピング、小児難聴・人工内耳の言語訓練などを行っている。			
《授業科目における学習内容》						
補聴器・人工内耳装用後の聴覚リハビリテーションおよび言語訓練を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(90点)、受講態度(10点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「標準言語聴覚障害学 聴覚障害学」医学書院 参考図書:新生児・幼小児の難聴 遺伝子診断から人工内耳手術,療育・教育まで						
《授業外における学習方法》						
適宜、前回の内容を復習、小テストを行い、振り返りができるように行う。小テストの結果は成績には反映しないが、復習することが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
専門用語も多く出てくるため、毎回の講義の理解が重要であり、わからないことは質問すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の訓練・評価方法を立案することができる。	PC (Power Point) 教科書	人工内耳のシステムの授業内容を振り返っておく。	
		各コマにおける授業予定	成人の聴覚活用および人工内耳のリハビリテーション① (典型的な難聴、失聴例に対するアプローチ)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	重複障害のある場合、成人の訓練・評価方法を立案することができる。	PC (Power Point) 教科書	人工内耳のシステムの授業内容を振り返っておく。	
		各コマにおける授業予定	成人の聴覚活用および人工内耳のリハビリテーション② (視覚聴覚二重障害について)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢難聴者の支援と聴覚活用を理解する。	PC (Power Point) 教科書	人工内耳のシステムの授業内容を振り返っておく。また、聴覚の病態を復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	成人の聴覚活用および人工内耳のリハビリテーション③ (加齢性難聴について)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	典型発達と比較することができるようになる。	PC (Power Point) 教科書	言語発達の基礎知識を振り返っておく。	
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳装用児に関する言語発達に関して (乳幼児期)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	学童期の支援、特に統語に関して理解ができるようになる。	PC (Power Point) 教科書	第4回および言語発達の基礎知識を振り返っておく。	
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳装用児に関する言語発達に関して (学童期)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理面の支援(障害認識など)に関して、理解を深めてもらう。	PC (Power Point) 教科書	新しい知識のため、特に事前準備は必要なし。
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳装用児に関する心理面の支援に関して(青年期および成人期)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	第4～6回の知識をふまえて、リハビリテーションの立案ができるようにする。	PC (Power Point) 教科書	第4～6回を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	小児の聴覚活用および人工内耳のリハビリテーション①(乳幼児期について)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	第4～6回の知識をふまえて、リハビリテーションの立案ができるようにする。	PC (Power Point) 教科書	第4～7回を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	小児の聴覚活用および人工内耳のリハビリテーション②(学童期について)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	重複障害児の聴覚活用に関して、活用効果の評価方法を理解する。	PC (Power Point) 教科書	新しい知識のため、特に事前準備は必要なし。
		各コマにおける授業予定	小児の聴覚活用および人工内耳のリハビリテーション③(重複障害について)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	BAHA、EAS、人工中耳などの仕組みを理解する	PC (Power Point) 教科書	新しい知識のため、特に事前準備は必要なし。
		各コマにおける授業予定	特殊な聴覚関連機器に関して(BAHA、EAS、人工中耳など)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療機関・教育機関との連携・流れについて、理解をする。	PC (Power Point) 教科書	新しい知識のため、特に事前準備は必要なし。
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳装用児の地域連携および支援に関して(小児)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療機関・福祉機関との連携・流れについて、理解をする。	PC (Power Point) 教科書	新しい知識のため、特に事前準備は必要なし。
		各コマにおける授業予定	補聴器・人工内耳装用者の地域連携および支援に関して(成人)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳の適応基準・施設規準を正しく、理解する。	PC (Power Point) 教科書	人工内耳のシステムの授業内容を振り返っておく。
		各コマにおける授業予定	人工内耳の適応基準・施設規準に関して		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器に関する基礎知識を振り返る(小テスト形式)	PC (Power Point) 教科書	現在の授業までの復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	補聴器についての総復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳に関する基礎知識を振り返る(小テスト形式)	PC (Power Point) 教科書	現在の授業までの復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	人工内耳についての総復習		